

## 平成 28 年度事業報告

公益財団法人鈴木万平糖尿病財団は、「糖尿病分野に関する研究者の国際的研究交流を助成し、あわせて我が国における同分野の研究者の育成を図ることにより、糖尿病学研究の一層の推進を図り、もって学術の向上発展に寄与する」ことを目的として、平成 28 年度（平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日）において、定款第 4 条に定める事業を実施した。

当該期間において次に掲げる事業は、基本財産及び特定資産等の運用益並びに特定資産の取り崩しにより実施した。

### 1. 定款に定める公益目的事業

助成事業（公 1）	(1) 糖尿病の研究に従事する研究者の海外留学に対する助成 (2) 糖尿病の研究に従事する外国人研究者の招聘に対する助成 (3) 糖尿病に関する会議・シンポジウムに対する助成 (4) 糖尿病に関する調査研究に対する助成
褒賞事業（公 2）	糖尿病の予防・治療等における国内の優れた業績に対する褒賞
褒賞事業（公 3）	糖尿病に関する国内外の優秀な研究実績に対する褒賞

### 2. 平成 28 年度公益目的事業

#### (1) 助成事業（公 1）の選考

開催年月日・場所	議 事	会議の結果
選考委員会 平成 27 年 10 月 22 日 (パレスホテル東京)	1. 平成 28 年度助成候補の選考 (1) 海外留学助成 6 名 (2) 外国人研究者招聘助成 1 件 (3) 会議・シンポジウム助成 5 件 (4) 調査研究助成 3 件 2. 調査研究助成Ⅱ継続の可否	1. 海外留学 6 名、外国人研究者招聘 1 件、会議・シンポジウム 3 件、調査研究 3 件を選定し、海外留学助成候補者は面接選考に、それ以外の助成候補は理事会に諮ることとなった 2. 平成 27 年度調査研究助成Ⅱ 2 件のうち 1 件は、未だ研究を開始していないこと、また助成金の使途についても疑義があることから報告書等の再提出を要請し、改善が認められなければ平成 29 年度の助成は打ち切ることと決定し、理事会に諮ることとなった
面接選考 平成 27 年 11 月 13 日 (日本橋ビル)	平成 28 年度海外留学助成候補者の面接選考	各候補者の資質・学識及び語学力につき面接審査を行ったところ、最終的には 6 名とも適格と判定し、理事会に諮ることとなった

(2) 褒賞事業（公2）の選考

開催年月日・場所	議 事	会議の結果
国内褒賞審査委員会 平成 27 年 10 月 20 日 (霞山会館)	平成 28 年度（第 9 回）糖尿病療養指導 鈴木万平賞受賞候補の選考	推薦 5 件の中から 3 件を受賞候補として、理事会に諮ることとなった

(3) 褒賞事業（公3）の選考

開催年月日・場所	議 事	会議の結果
国際褒賞審査委員会 平成 28 年 8 月 2 日 (帝国ホテル)	平成 28 年度（第 9 回）鈴木万平記念 糖尿病国際賞受賞候補者の選考	推薦 8 名の中から受賞候補者を選定し、理事会に諮ることとなった

(4) 公益目的事業に係わる議案の理事会における承認

開催年月日・場所	議 事	会議の結果
平成 27 年度第 1 回 平成 27 年 5 月 25 日 (パレスホテル東京)	1. 平成 28 年度公益目的事業の件 (1) 助成事業 ①海外留学助成 6 名 ②外国人研究者招聘助成 1 件 ③会議・シンポジウム助成 5 件 ④調査研究助成 3 件 (2) 国内褒賞事業 3 件 (3) 国際褒賞事業 1 名 2. 選考委員選任の件	1. 助成事業のうち調査研究助成 I は本年度を以って終了とし、平成 28 年度より調査研究助成 II と統合し調査研究助成として 3 件募集することとなったが、それ以外の助成事業並びに褒賞事業は原案のとおり承認された 2. 谷澤幸生委員の重任が承認され、任期は他の現任者の残任期間とすることとなった
平成 27 年度第 2 回 平成 27 年 12 月 9 日 (パレスホテル東京)	1. 平成 28 年度助成事業の件 (1) 海外留学助成 6 名 (2) 外国人研究者招聘助成 1 件 (3) 会議・シンポジウム助成 3 件 (4) 調査研究助成 3 件 2. 平成 28 年度（第 9 回）国内褒賞事業の件 3. 平成 28 年度事業計画及び収支予算（案）の件 4. 国内褒賞審査委員選任の件 5. 国際褒賞審査委員選任の件	1. 原案のとおり承認された併せて、調査研究助成 II の助成継続についても原案のとおり承認された 2. 原案のとおり承認された 3. 原案のとおり承認された 4. 原案のとおり承認された 5. 原案のとおり承認された
平成 28 年度第 2 回 平成 28 年 12 月 5 日 (パレスホテル東京)	平成 28 年度（第 9 回）国際褒賞事業の件	原案のとおり承認された

## (5) 公益目的事業の概要

公益目的事業	金額	内容
<b>助成事業</b>		
海外留学助成 1.	24,000,000 円	平成 28 年度新規 (@400 万円×6 名)
同上 2.	20,000,000 円	平成 27 年度継続 (@400 万円×5 名)
小 計	44,000,000 円	
外国人研究者招聘助成	1,000,000 円	@100 万円×1 件
会議・シンポジウム助成	3,000,000 円	@100 万円×3 件
調査研究助成 1.	7,500,000 円	平成 28 年度新規 (@250 万円×3 件)
同上 2.	5,000,000 円	平成 27 年度継続 (@250 万円×2 件)
同上 3.	0 円	平成 26 年度継続 (@250 万円×0 件)
小 計	12,500,000 円	
選考委員会	1,891,180 円	開催関係費用
合 計	62,391,180 円	
<b>褒賞事業（国内褒賞）</b>		
第 9 回糖尿病療養指導鈴木万平賞	9,302,508 円	正賞楯、副賞、記念品
	2,131,616 円	表彰式関係費用
	584,280 円	広告関係費用
小 計	12,018,404 円	
国内褒賞審査委員会	865,590 円	開催関係費用
合 計	12,883,994 円	
<b>褒賞事業（国際褒賞）</b>		
第 9 回鈴木万平記念糖尿病国際賞	17,778,780 円	正賞楯、副賞、記念品
	10,137,178 円	表彰式関係費用
	3,055,785 円	広告関係費用
	3,240,000 円	業務委託費
小 計	34,211,743 円	
国際褒賞審査委員会	3,058,872 円	開催関係費用
合 計	37,270,615 円	
<b>総 計</b>	<b>112,545,789 円</b>	

各公益目的事業の詳細は、附属明細書のとおりである。

### 3. その他

#### (1) 平成 29 年度助成事業（公 1）の選考

開催年月日・場所	議 事	会議の結果
選考委員会 平成 28 年 11 月 7 日 (パレスホテル東京)	1. 平成 29 年度助成候補の選考 (1) 海外留学助成 6 名 (2) 外国人研究者招聘助成 1 件 (3) 会議・シンポジウム助成 5 件 (4) 調査研究助成 3 件 2. 調査研究助成継続の可否	1. 海外留学 6 名、外国人研究者招聘 1 件、会議・シンポジウム 4 件、調査研究 3 件を選定し、海外留学助成候補者は面接選考に、それ以外の助成候補は理事会に諮ることとなった 2. 平成 27 年度調査研究助成 II 2 件のうち 1 件は、未だ研究を開始していないこと、また助成金の使途についても疑義があることから平成 29 年度の助成は打ち切ることと決定し、理事会に諮ることとなった
面接選考 平成 28 年 11 月 25 日 (日本橋ビル)	平成 29 年度海外留学助成候補者の面接選考	候補者 6 名のうち 5 名の資質・学識及び語学力につき面接審査を行ったところ、最終的には 5 名とも適格と判定し、理事会に諮ることとなった
面接選考 平成 29 年 1 月 6 日 (大阪大学)	平成 29 年度海外留学助成候補者の面接選考	体調不良により欠席との事前連絡があった候補者 1 名の面接審査を選考委員長が行い、適格と判定した

#### (2) 平成 29 年度国内褒賞事業（公 2）の選考

開催年月日・場所	議 事	会議の結果
国内褒賞審査委員会 平成 28 年 10 月 14 日 (霞山会館)	平成 29 年度（第 10 回）糖尿病療養指導鈴木万平賞受賞候補の選考	推薦 4 件の中から 3 件を受賞候補として、理事会に諮ることとなった

(3) 平成 29 年度公益目的事業に係わる議案の理事会における承認

開催年月日・場所	議 事	会議の結果
<p>第 1 回 平成 28 年 5 月 23 日 (パレスホテル東京)</p>	<p>1. 平成 29 年度公益目的事業の件 (1) 助成事業 ①海外留学助成 6 名 ②外国人研究者招聘助成 1 件 ③会議・シンポジウム助成 5 件 ④調査研究助成 3 件 (2) 国内褒賞事業 3 件 (3) 国際褒賞事業 1 名 2. 選考委員選任及び各委員会運営規程改正の件</p>	<p>1. 原案のとおり承認された  2. 全選考委員の再任とともに、任期満了等に伴い委員長が不在の場合は理事長が委員会を召集できるよう各委員会運営規程を改正することが承認された</p>
<p>第 2 回 平成 28 年 12 月 5 日 (パレスホテル東京)</p>	<p>1. 平成 29 年度助成事業の件 (1) 海外留学助成 6 名 (2) 外国人研究者招聘助成 1 件 (3) 会議・シンポジウム助成 4 件 (4) 調査研究助成 3 件 2. 平成 29 年度 (第 10 回) 国内褒賞事業の件 3. 平成 29 年度事業計画及び収支予算(案)の件</p>	<p>1. 調査研究助成のうち平成 27 年度の 1 件を助成中止とすることも含め、原案のとおり承認された  2. 原案のとおり承認された  3. 原案のとおり承認された</p>

## 附 属 明 細 書

### 海外留学助成 - 1 (平成 28 年度新規分 6 名)

氏名・所属	研究課題・研究項目・研究機関・研究指導者・助成期間
<p>折目 和基 横浜市立大学 附属病院 内分泌・糖尿病内科</p>	<p>研究課題： 液性増殖因子による膵β細胞量調節機構の解明 研究項目： 1. 液性増殖因子の膵β細胞内での作用機序の解析 2. 液性増殖因子の発現制御機構の解析 3. 液性増殖因子とインスリンシグナルの相互作用の検討 研究機関： Joslin Diabetes Center 研究指導者： Associate Professor Rohit N. Kulkarni 助成期間： 自 平成 28 年 5 月 1 日 至 平成 30 年 4 月 30 日</p>
<p>小澤 公哉 千葉大学 医学部附属病院 検査部</p>	<p>研究課題： インスリン抵抗性の動脈硬化による血管内皮酸化ストレスや炎症への治療介入における新規分子画像評価法の開発 研究項目： インスリン抵抗性、動脈硬化、分子画像 研究機関： Oregon Health &amp; Science University 研究指導者： Director Jonathan R. Lindner 助成期間： 自 平成 28 年 4 月 1 日 至 平成 30 年 3 月 31 日</p>
<p>佐々木 周伍 大阪大学 医学部附属病院 内分泌・代謝内科</p>	<p>研究課題： 糖尿病再生医療に向けた膵β細胞分化・成熟機構の解明 研究項目： 非β細胞からβ細胞へのリプログラミング促進因子の同定 研究機関： The University of British Columbia 研究指導者： Associate Professor Francis Lynn 助成期間： 自 平成 28 年 9 月 1 日 至 平成 30 年 8 月 31 日</p>
<p>飯田 雅 順天堂大学 医学部附属 静岡病院 糖尿病・内分泌内科</p>	<p>研究課題： 膵β細胞における SERCA2 過剰発現が小胞体ストレスに及ぼす影響の検討 研究項目： 膵β細胞、細胞生理 研究機関： Indiana University 研究指導者： Associate Professor Carmella Evans-Molina 助成期間： 自 平成 28 年 9 月 1 日 至 平成 30 年 8 月 31 日</p>
<p>福田 一起 熊本大学 医学部附属病院 糖尿病・代謝・ 内分泌内科</p>	<p>研究課題： α細胞機能制御による新規糖尿病治療の開発 研究項目： α細胞由来 GLP-1 のβ細胞容積制御における生理学的意義の解明 研究機関： Joslin Diabetes Center 研究指導者： Associate Professor Rohit N. Kulkarni 助成期間： 自 平成 29 年 3 月 1 日 至 平成 31 年 2 月 28 日</p>

氏名・所属	研究課題・研究項目・研究機関・研究指導者・助成期間
赤澤 諭 長崎大学 保健・医療推進 センター	研究課題： 1型糖尿病における膵島特異的自己免疫の機序の解明と治療的修飾 研究項目： 1型糖尿病における膵島抗原特異的メモリーT細胞の免疫寛容誘導を 目指した新規治療法の開発 研究機関： St. Vincent's Institute of Medical Research 研究指導者： Professor Thomas Kay 助成期間： 自 平成 28 年 4 月 1 日 至 平成 30 年 3 月 31 日

海外留学助成 - 2 (平成 27 年度継続分 5 名)

氏名・所属	研究課題・研究項目・研究機関・研究指導者・助成期間
横溝 咲 九州大学大学院 医学研究院 病態制御内科学	研究課題： 長期生存 1 型糖尿病患者検体を用いた糖尿病血管合併症保護効果を示す 分子の同定と糖尿病腎症の新規治療法の開発 研究項目： 糖尿病血管合併症保護効果を示す分子の同定 研究機関： Joslin Diabetes Center, Harvard Medical School 研究指導者： Professor George L. King 助成期間： 自 平成 27 年 4 月 1 日 至 平成 29 年 3 月 31 日
細川 裕之 千葉大学大学院 医学研究院 免疫発生学	研究課題： 脂肪組織に慢性炎症を惹起する CD4 および CD8T 細胞の分化と機能 制御メカニズムの解明 研究項目： 細胞分子生物学、生化学 研究機関： California Institute of Technology 研究指導者： Professor Ellen Rothenberg 助成期間： 自 平成 27 年 4 月 1 日 至 平成 29 年 3 月 31 日
酒井 真志人 国立国際医療研究 センター研究所 糖尿病研究センター 分子代謝制御研究部	研究課題： 糖尿病、動脈硬化の病態形成におけるマクロファージの機能解析と治療 標的の同定 研究項目： ① マクロファージのエンハンサー機能異常の解明 ② eRNA の作用機序の解明 研究機関： University of California, San Diego 研究指導者： Professor Christopher K. Glass 助成期間： 自 平成 28 年 3 月 1 日 至 平成 30 年 2 月 28 日
駒田 敬則 自治医科大学 腎臓内科	研究課題： 糖尿病性腎症における腎 Nod 様受容体の役割の解明 研究項目： 糖尿病性腎症に関する動物実験、細胞実験、トランスレーショナル研究 研究機関： Snyder Institute for Chronic Diseases, University of Calgary 研究指導者： Professor Daniel A. Muruve 助成期間： 自 平成 27 年 4 月 1 日 至 平成 29 年 3 月 31 日

氏名・所属	研究課題・研究項目・研究機関・研究指導者・助成期間
池田 賢司 東京医科歯科大学 医歯学総合研究科 分子内分泌代謝学 分野	研究課題： ベージュ脂肪細胞を介した脂肪組織炎症およびインスリン抵抗性の改善効果と作用機序 研究項目： ベージュ脂肪細胞の分化制御機構の同定、ベージュ脂肪細胞の脂肪組織炎症ならびにインスリン感受性への影響 研究機関： University of California, San Diego 研究指導者： Assistant Professor Singo Kajimura 助成期間： 自 平成 27 年 4 月 1 日 至 平成 29 年 3 月 31 日

外国人研究者招聘助成（平成 28 年度 1 件）

招聘外国人研究者	受入責任者	A. 研究課題 B. 招聘目的
University of Toronto Professor Minna Woo	東京医科歯科大学 難治疾患研究所 教授 榑木 俊聡	A. 1 型及び 2 型糖尿病病態形成 B. 第 24 回マクロファージ分子細胞生物学研究会学術集会（東京）における招聘講演及び討論

会議・シンポジウム助成（平成 28 年度 3 件）

会合名・開催日・場所	責任者	参加人数	主催
第 16 回日本先進糖尿病治療研究会 平成 28 年 11 月 26 日 ワークピア横浜（横浜市）	埼玉医科大学 内分泌糖尿病内科 教授 島田 朗	127 名	日本先進糖尿病治療研究会
第 28 回日本糖尿病性腎症研究会 平成 28 年 12 月 3 日～4 日 都市センターホテル（千代田区）	東京慈恵会医科大学 糖尿病・代謝・内分泌内科 主任教授 宇都宮 一典	447 名	日本糖尿病性腎症研究会
第 31 回日本糖尿病・肥満動物学会 年次学術集会 平成 29 年 2 月 10 日～11 日 はまぎんホール（横浜市）	横浜市立大学大学院医学研究科 分子内分泌・糖尿病内科学 教授 寺内 康夫	257 名	日本糖尿病・肥満動物学会



調査研究助成 - 1 (平成 28 年度新規分 3 件)

研究施設・責任者	研究タイトル・助成期間
国立成育医療研究センター 部長 深見 真紀	研究タイトル： 新規アプローチ法による小児期発症 1 型糖尿病の発症機序の解明 助成期間： 自 平成 28 年 4 月 至 平成 31 年 3 月 (3 年間)
糖尿病データマネジメント研究会 代表理事 前川 聡	研究タイトル： 全国多施設大規模共同研究による日本人糖尿病の死亡・心血管疾患発症の前向き観察研究によるリスク解析 助成期間： 自 平成 28 年 4 月 至 平成 31 年 3 月 (3 年間)
千葉大学大学院 医学研究院 助教 前澤 善朗	研究タイトル： 糖尿病性腎症ならびに糖尿病大血管障害の発症進展を制御するバイオマーカーの探索 助成期間： 自 平成 28 年 4 月 至 平成 31 年 3 月 (3 年間)

調査研究助成 - 2 (平成 27 年度継続分 2 件)

研究施設・責任者	研究タイトル・助成期間
大阪大学大学院 助教 西田 健太郎	研究タイトル： 重症糖尿病網膜症に対する包括的治療の開発と実践 助成期間： 自 平成 27 年 4 月 至 平成 30 年 3 月 (3 年間)
順天堂大学大学院 助教 三田 智也	研究タイトル： 2 型糖尿病患者の生活パターンと予後・臓器障害・代謝との関連性のコホート調査 助成期間： 自 平成 27 年 4 月 至 平成 30 年 3 月 (3 年間)

平成 28 年度（第 9 回）糖尿病療養指導鈴木万平賞

平成 28 年 10 月 14 日に霞山会館（千代田区）において表彰式並びに記念パーティーを開催した。

受賞	推薦者	主な業績
清野 裕 せいの ゆたか	日本病態栄養学会 理事 立川 慎子 たちかわ ともしこ	糖尿病療養指導者の教育・育成に関する貢献 ・日本糖尿病療養指導士（CDEJ）・地域糖尿病療養指導士（CDEL）の教育・育成に関する貢献 ・登録医・療養指導医・歯科医師登録医制度の創設 ・均質な療養指導を全国展開するためのツールの開発と普及 ・日本病態栄養学会の創設・糖尿病透析予防指導管理料の診療報酬上の評価の実現 ・「世界糖尿病デー」の普及活動
平尾 紘一 ひらお こういち	日本糖尿病協会 理事 戸所 文生 とどころ ふみお	糖尿病患者さんに寄り添い、医療の質の向上に発展
朝日生命成人病研究所 附属医院 あさひせいめいせいじんびょうけんきゅうじょ ふぞくいびん	日本糖尿病学会 理事長 簡脇 孝 かどわき たかし	体系的な糖尿病療養指導体制の確立と先駆的な試みの実践

平成 28 年度（第 9 回）鈴木万平記念糖尿病国際賞

平成 29 年 3 月 2 日に経団連会館（千代田区）において表彰式・記念講演会並びに記念パーティーを開催した。

受賞者	推薦者	主な業績
Jeffrey M. Friedman, M.D., Ph.D. Marilyn M. Simpson Professor and Head of the Laboratory of Molecular Genetics The Rockefeller University (USA)	Domenico Accili, M.D. Professor of Medicine, Russell Berrie Foundation Professor of Diabetes, Chief of the Division of Endocrinology Columbia University Medical Center (USA)	糖尿病に伴って最も一般的に認められる「肥満とインスリン抵抗性」に対する理解への鍵である、レプチン及びレプチンからなる新たな内分泌系の画期的な発見が高く評価された